



平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年11月13日

上場会社名 株式会社 積水工機製作所 上場取引所 東
 コード番号 6487 URL <http://www.sekisuikouki.co.jp>
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)海田 拓洋
 問合せ先責任者 (役職名)取締役経営管理部長 (氏名)浜田 洋介 (TEL)072(858)1121
 四半期報告書提出予定日 平成25年11月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	2,817	△0.9	78	119.8	70	108.6	60	112.5
25年3月期第2四半期	2,843	△13.4	35	—	33	—	28	—

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 62百万円(144.6%) 25年3月期第2四半期 25百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
26年3月期第2四半期	6	54	—	—
25年3月期第2四半期	3	08	—	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	5,702	—	2,453	—	43.0	—
25年3月期	6,290	—	2,390	—	38.0	—

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 2,453百万円 25年3月期 2,390百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円	銭	円	銭	円
25年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
26年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
26年3月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、通期は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	6,000	2.5	160	32.5	150	27.9	130	322.0	14	02

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期2Q	9,350,000株	25年3月期	9,350,000株
② 期末自己株式数	26年3月期2Q	75,676株	25年3月期	74,901株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期2Q	9,274,770株	25年3月期2Q	9,275,828株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(セグメント情報等)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
4. 補足情報	11
(1) 受注の状況	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間の金型部門の状況につきましては、円安の進行などにより主要顧客である自動車メーカー各社の生産台数が回復し、新車開発需要は新興国市場向けを中心に堅調に推移しました。しかしながら、顧客の海外生産拠点の拡充、現地部品調達の流れは変わらず、国内の金型市場は依然として供給過剰による価格の低下を強いられる厳しい状況が続きました。このような経営環境の中、当社はセキスイブランド戦略を軸に、顧客別ニーズにそった提案営業を推進し、競合他社との提供価値の差別化を進めてまいりましたが、当第2四半期連結累計期間の受注は、厳しい価格競争の影響と顧客の新車開発計画の延期などにより、前年同期を下回る実績となりました。金型部門の当第2四半期連結累計期間の売上高は、1,956百万円（前年同期比2.1%減）となり、営業利益は4百万円（前年同期比13.7%減）となりました。

産業機器部門の状況につきましては、主要顧客からの高機能押出機関連設備の引合いは増加傾向にあるものの、計画延期等が多く発生し、厳しい受注環境が続きました。このような状況の中、主要顧客への訪問強化、展示会への出展による受注量拡大に努めるとともに、高トルク押出機上市を始め、成長市場への技術開発を推進してまいりました。この結果、当第2四半期連結累計期間の受注は、前年同期を上回る実績となりました。産業機器部門の当第2四半期連結累計期間の売上高は860百万円（前年同期比1.9%増）となり、営業利益は変動原価削減効果等もあり、63百万円（前年同期比211.8%増）となりました。

以上の結果、当社グループの当第2四半期連結累計期間の経営成績は、売上高は2,817百万円（前年同期比0.9%減）、営業利益78百万円（前年同期比119.8%増）、経常利益70百万円（前年同期比108.6%増）、四半期純利益は60百万円（前年同期比112.5%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は前連結会計年度末に比べ588百万円減少し、5,702百万円となりました。主な内訳は資産側においては、流動資産が646百万円減少し、固定資産は58百万円増加しました。流動資産は売上債権が478百万円減少し、仕掛品は68百万円減少しました。固定資産の増加は設備投資による増加が減価償却費を上回ったものです。負債側においては、流動負債が1,251百万円減少し、固定負債は600百万円増加しました。流動負債は短期借入金が693百万円減少し、仕入債務が430百万円減少したこと等によるものです。固定負債の増加は長期借入金の増加によるものです。純資産は四半期純利益60百万円の計上等により前連結会計年度末に比べ62百万円増加し、2,453百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動で獲得した資金は142百万円となりました。主な増加の内訳は税金等調整前四半期純利益71百万円と減価償却費88百万円、売上債権の減少478百万円によるものであり、主な減少の内訳は、仕入債務の減少430百万円等です。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動で使用した資金は128百万円となりました。有形固定資産の取得による支出148百万円が主なものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動で使用した資金は90百万円となりました。主な内訳は長期借入れによる収入800百万円、短期借入金の純減額800百万円、長期借入金の返済による支出80百万円などです。

以上の結果、当第2四半期連結会計期間の現金及び現金同等物の期末残高は、前連結会計年度末に比べ76

百万円減少し、1,144百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の見通しにつきましては、当社グループに関連する金型市場は、国内主要自動車メーカー各社の新車開発計画は増加傾向にあり、引合いも堅調に推移するものと思われます。一方、産業機器市場では、高機能フィルム・シート押出機関連の設備投資需要は、引き続き低調に推移するものと予測されます。

このような状況の中で、金型部門におきましては、インパネ金型のバリュープロポジション（価値提案）構築と徹底したコストダウン、三光合成株式会社とのインドでの金型合弁会社の早期立上げなど、グローバルパートナーとの新たな付加価値創造、バルブゲートシステムの規格認知拡大とツインウェイバルブゲートの販路拡大を推進してまいります。また、生産面では生産性向上による収益改善に取り組んでまいります。

産業機器部門におきましては、主要顧客、開発部門への訪問を強化し、信頼向上とコミュニケーション強化により、安定受注基盤を確立するとともに、変動原価の削減、設計業務の標準化などに取り組んでまいります。また、生分解性樹脂（PLA）の共同用途開発、高精度多層金型、次世代可視化解析押出機の開発など成長市場に向けた新製品開発と技術力強化、新製品の拡販を推進してまいります。

なお、本年8月、合成樹脂成形品メーカーである株式会社ファルテックと資本・業務提携を締結し、同社は、当社の第4位株主（持株比率8.98%）となりました。

当期の通期連結業績予想については、売上高6,000百万円、営業利益160百万円、経常利益150百万円、当期利益130百万円を見込んでいます。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

(追加情報)

(連結納税制度の適用)

当社及び連結子会社は、第1四半期連結会計期間より連結納税制度を適用しています。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,221,038	1,144,714
受取手形及び売掛金	2,130,752	1,652,269
仕掛品	417,230	348,483
原材料及び貯蔵品	34,033	28,267
繰延税金資産	56,890	59,349
その他	66,666	47,243
貸倒引当金	△4,000	△4,000
流動資産合計	3,922,611	3,276,327
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	440,966	423,288
機械装置及び運搬具(純額)	545,243	506,956
土地	1,112,910	1,112,910
建設仮勘定	30,253	163,172
その他(純額)	15,350	13,315
有形固定資産合計	2,144,723	2,219,643
無形固定資産		
ソフトウェア	67,106	56,188
その他	4,595	4,547
無形固定資産合計	71,701	60,735
投資その他の資産		
繰延税金資産	65	65
その他	151,342	145,598
投資その他の資産合計	151,407	145,663
固定資産合計	2,367,831	2,426,042
資産合計	6,290,442	5,702,369

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,627,031	1,196,569
短期借入金	1,620,259	926,660
未払法人税等	11,779	19,903
賞与引当金	67,900	64,700
設備関係支払手形	42,629	13,365
設備関係未払金	19,317	51,305
その他	327,948	193,281
流動負債合計	3,716,867	2,465,784
固定負債		
長期借入金	—	613,340
長期未払金	44,210	44,210
リース債務	105,223	94,319
繰延税金負債	31,168	29,246
退職給付引当金	2,276	2,430
固定負債合計	182,877	783,545
負債合計	3,899,745	3,249,330
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,613,000	1,613,000
資本剰余金	831,151	831,151
利益剰余金	△43,053	17,637
自己株式	△17,487	△17,598
株主資本合計	2,383,610	2,444,190
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	7,087	8,848
その他の包括利益累計額合計	7,087	8,848
純資産合計	2,390,697	2,453,038
負債純資産合計	6,290,442	5,702,369

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	2,843,523	2,817,466
売上原価	2,506,099	2,442,175
売上総利益	337,424	375,291
販売費及び一般管理費	301,934	297,272
営業利益	35,489	78,018
営業外収益		
受取利息	45	222
受取配当金	421	209
仕入割引	1,193	1,206
助成金収入	6,509	—
その他	377	8
営業外収益合計	8,547	1,646
営業外費用		
支払利息	9,608	8,901
売上割引	105	13
その他	501	189
営業外費用合計	10,215	9,105
経常利益	33,821	70,560
特別利益		
固定資産売却益	—	765
特別利益合計	—	765
特別損失		
固定資産除売却損	113	—
投資有価証券評価損	106	—
特別損失合計	220	—
税金等調整前四半期純利益	33,601	71,325
法人税、住民税及び事業税	2,543	15,989
法人税等調整額	2,498	△5,355
法人税等合計	5,041	10,634
少数株主損益調整前四半期純利益	28,560	60,691
四半期純利益	28,560	60,691

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	28,560	60,691
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△3,031	1,761
その他の包括利益合計	△3,031	1,761
四半期包括利益	25,529	62,452
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	25,529	62,452

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	33,601	71,325
減価償却費	98,765	88,628
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△21,214	—
受取利息及び受取配当金	△466	△432
支払利息	9,608	8,901
助成金収入	△6,509	—
投資有価証券評価損益(△は益)	106	—
固定資産除売却損益(△は益)	113	△765
売上債権の増減額(△は増加)	△104,212	478,483
前受金の増減額(△は減少)	13,146	△105,363
たな卸資産の増減額(△は増加)	△43,207	74,512
破産更生債権等の増減額(△は増加)	21,214	—
仕入債務の増減額(△は減少)	37,620	△430,462
未払消費税等の増減額(△は減少)	△28,907	△38,769
賞与引当金の増減額(△は減少)	△2,700	△3,200
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△493	154
その他	△7,507	15,423
小計	△1,042	158,436
利息及び配当金の受取額	466	432
利息の支払額	△9,633	△7,622
助成金の受取額	6,509	—
法人税等の支払額	△5,709	△8,410
退職特別加算金の支出	△16,646	—
転進支援費用の支出	△620	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	△26,675	142,834
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△83,761	△148,397
有形固定資産の売却による収入	224,332	2,000
その他	△10,372	17,647
投資活動によるキャッシュ・フロー	130,198	△128,750
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△49,524	△800,259
長期借入れによる収入	—	800,000
長期借入金の返済による支出	△90,000	△80,000
リース債務の返済による支出	△9,763	△10,037
自己株式の純増減額(△は増加)	△42	△111
配当金の支払額	△160	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△149,491	△90,408
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△45,967	△76,324
現金及び現金同等物の期首残高	516,456	1,221,038
現金及び現金同等物の四半期末残高	470,488	1,144,714

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第2四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 ※1	合計 ※2
	金型	産業機器	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,999,046	844,477	2,843,523	—	2,843,523
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,999,046	844,477	2,843,523	—	2,843,523
セグメント利益	5,455	20,434	25,889	9,600	35,489

(注) ※1 セグメント利益の調整額9,600千円は、セグメント間取引消去であります。

※2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

当第2四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 ※1	合計 ※2
	金型	産業機器	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,956,912	860,553	2,817,466	—	2,817,466
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,956,912	860,553	2,817,466	—	2,817,466
セグメント利益	4,710	63,708	68,418	9,600	78,018

(注) ※1 セグメント利益の調整額9,600千円は、セグメント間取引消去であります。

※2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

4. 補足情報

(1) 受注の状況

当第2四半期連結累計期間における受注実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高(千円)	前年同四半期比 (%)	受注残高(千円)	前年同四半期比 (%)
金型	1,900,817	△11.06	1,110,740	△1.8
産業機器	867,881	2.42	1,185,960	56.1
合計	2,768,698	△7.23	2,296,700	21.4

(注) 1 セグメント間取引については、相殺消去しています。

2 上記の金額には、消費税等は含まれていません。